

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成30年10月15日
【四半期会計期間】	第104期第3四半期（自 平成30年6月1日 至 平成30年8月31日）
【会社名】	川上塗料株式会社
【英訳名】	KAWAKAMI PAINT MFG.CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 野村 茂光
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 松下 田佳子
【最寄りの連絡場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 松下 田佳子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第103期 第3四半期連結 累計期間	第104期 第3四半期連結 累計期間	第103期
会計期間	自平成28年 12月1日 至平成29年 8月31日	自平成29年 12月1日 至平成30年 8月31日	自平成28年 12月1日 至平成29年 11月30日
売上高 (千円)	4,284,227	4,116,033	5,854,030
経常利益 (千円)	248,663	192,296	354,472
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	189,763	149,954	264,835
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	238,095	70,825	345,343
純資産額 (千円)	1,962,605	2,115,681	2,069,829
総資産額 (千円)	6,803,037	6,830,316	7,121,104
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	190.48	150.54	265.84
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	28.85	30.97	29.07

回次	第103期 第3四半期連結 会計期間	第104期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成29年 6月1日 至平成29年 8月31日	自平成30年 6月1日 至平成30年 8月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	61.44	47.49

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成29年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載いたしました「事業等のリスク」について、重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

##### (経営成績の分析)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用環境の改善が進み景気は緩やかな回復が続きました。一方、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦の影響や新興国経済の悪化等が懸念され、依然として先行き不安定な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは前連結会計年度に引き続き、採算改善、生産効率の向上など事業基盤の拡充に注力致しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高4,116百万円（前年同期比3.9%減）、経常利益192百万円（前年同期比22.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

なお、当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

##### (財政状態の分析)

##### (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ商品及び製品が93百万円増加し、受取手形及び売掛金が227百万円減少したこと等により、6,830百万円（前連結会計年度末比290百万円減）となりました。

##### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が187百万円減少したこと等により、4,714百万円（前連結会計年度末比336百万円減）となりました。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が125百万円増加したこと等により2,115百万円（前連結会計年度末比45百万円増）となりました。

#### (2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (3)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は216百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

また、研究開発による新製品は、次のとおりであります。

- ・特化則対応ウレタン樹脂塗料

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成30年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成30年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,000,000	1,000,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	1,000,000	1,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成30年6月1日～ 平成30年8月31日	-	1,000,000	-	500,000	-	41,095

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成30年5月31日の株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(普通株式) 5,700	-	-
完全議決権株式(その他)	(普通株式) 989,600	9,896	-
単元未満株式	(普通株式) 4,700	-	-
発行済株式総数	1,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,896	-

【自己株式等】

平成30年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
川上塗料(株)	兵庫県尼崎市塚口本町 2 - 41 - 1	3,000	-	3,000	0.30
(株)友進商会	大阪府守口市大庭町2 - 8 - 24	-	2,700	2,700	0.27
計	-	3,000	2,700	5,700	0.57

(注) 1. (株)友進商会は当社取引先の販売店持株会である川上塗料共栄会(兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1)の会員であり、川上塗料共栄会名義で所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年6月1日から平成30年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年12月1日から平成30年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、新日本有限責任監査法人は平成30年7月1日をもって名称をEY新日本有限責任監査法人に変更しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,374,442	1,329,591
受取手形及び売掛金	2,321,846	2,094,434
商品及び製品	716,061	809,096
仕掛品	31,503	29,215
原材料及び貯蔵品	282,355	275,044
その他	75,804	84,301
貸倒引当金	2,454	2,457
流動資産合計	4,799,558	4,619,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	362,767	352,535
機械装置及び運搬具(純額)	205,175	200,181
土地	710,682	710,682
その他(純額)	163,653	141,734
有形固定資産合計	1,442,279	1,405,133
無形固定資産		
6,934		5,721
投資その他の資産		
投資有価証券	778,556	665,595
その他	93,775	134,638
投資その他の資産合計	872,331	800,233
固定資産合計	2,321,546	2,211,089
資産合計	7,121,104	6,830,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,736,127	1,548,146
短期借入金	1,289,677	1,318,112
未払法人税等	51,268	27,782
その他	365,454	247,053
流動負債合計	3,442,526	3,141,094
固定負債		
長期借入金	652,776	606,989
役員退職慰労引当金	78,313	80,152
退職給付に係る負債	710,286	732,550
その他	167,372	153,848
固定負債合計	1,608,747	1,573,539
負債合計	5,051,274	4,714,634
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	41,095	41,095
利益剰余金	1,177,436	1,302,467
自己株式	8,014	8,063
株主資本合計	1,710,517	1,835,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	393,270	312,876
退職給付に係る調整累計額	33,958	32,694
その他の包括利益累計額合計	359,312	280,182
純資産合計	2,069,829	2,115,681
負債純資産合計	7,121,104	6,830,316

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)
売上高	4,284,227	4,116,033
売上原価	3,401,966	3,305,954
売上総利益	882,260	810,079
販売費及び一般管理費	659,871	648,983
営業利益	222,389	161,095
営業外収益		
受取利息	48	19
受取配当金	14,385	16,284
持分法による投資利益	633	1,366
技術権利料	17,118	15,792
その他	3,672	7,228
営業外収益合計	35,859	40,692
営業外費用		
支払利息	9,309	8,134
その他	275	1,356
営業外費用合計	9,584	9,490
経常利益	248,663	192,296
特別利益		
固定資産売却益	1,643	-
特別利益	6,437	-
特別損失		
固定資産譲渡損	2,143	-
特別損失	1,433	-
税金等調整前四半期純利益	253,668	192,296
法人税、住民税及び事業税	67,793	56,940
法人税等調整額	3,889	14,598
法人税等合計	63,904	42,341
四半期純利益	189,763	149,954
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,763	149,954

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	189,763	149,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,029	80,393
退職給付に係る調整額	698	1,264
その他の包括利益合計	48,331	79,129
四半期包括利益	238,095	70,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,095	70,825
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

三井物産ケミカル(株)の売掛債権に対する保証額であります。

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
	27,399千円	20,759千円

2. 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
	- 千円	12,848千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
工具、器具及び備品	6,437千円	- 千円

2. 固定資産譲渡損の内容は、次のとおりであります。  
土地の無償譲渡による損失であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
減価償却費	85,756千円	89,538千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月24日 定時株主総会	普通株式	19,942	2	平成28年11月30日	平成29年2月27日	利益剰余金

(注) 当社は、平成29年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成29年2月24日定時株主総会決議による1株当たり配当額につきましては、当該株式併合前の実際の配当額を記載しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年2月23日 定時株主総会	普通株式	24,924	25	平成29年11月30日	平成30年2月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年8月31日)

当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年12月1日至平成30年8月31日)

当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
1株当たり四半期純利益	190円48銭	150円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	189,763	149,954
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	189,763	149,954
普通株式の期中平均株式数(株)	996,223	996,139

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 平成29年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年10月15日

川上塗料株式会社  
取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小竹 伸幸 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 守谷 義広 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている川上塗料株式会社の平成29年12月1日から平成30年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年6月1日から平成30年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年12月1日から平成30年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、川上塗料株式会社及び連結子会社の平成30年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。